

平成 30 年度児童虐待による死亡事例検証委員会について

1 趣旨

平成 30 年 4 月に発生した北上市の児童虐待による死亡事案について、事実の把握及び死亡した児童の視点に立って発生原因の分析等を行い、必要な再発防止策を検討するため、岩手県社会福祉審議会児童福祉専門分科会措置部会に死亡事例検証委員会を設置する。

今年度内に報告書を取りまとめ、岩手県社会福祉審議会に報告を行う予定。

2 検証組織（岩手県社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 措置部会）

所 属 名	職 名	氏 名	摘 要
岩手県社会福祉協議会保育協議会	顧問	田口 和子	分科会会長
岩手県民生委員児童委員協議会	副会長	米田 ハツエ	
岩手弁護士会	弁護士	姉帯 幸子	法律
岩手医科大学小児科学講座	准教授	亀井 淳	小児科医療
岩手大学人文社会科学部	准教授	西牧 正義	法律（民法）
岩手医科大学神経精神科学講座	講師	八木 淳子	精神科医療
岩手県立大学社会福祉学部	教授	三上 邦彦	学識経験者（※）

※ 県立大学三上教授については、本県の児童虐待防止対策の推進に当たり、国の施策の動向のほか、県内の状況を踏まえ随時助言いただいていることから、今般の検証委員会の委員を務めていただく方向で調整中。

（参考：平成 23 年度検証委員会の状況）

※ 事件発生：平成 23 年 3 月 20 日（生後 2 か月女児の頭部を実母が数回殴り死亡させた）

(1) 開催状況

月 日	検証委員会等	会議内容
平成 23 年 10 月 4 日	第 1 回検証委員会	スケジュール確認、事例の事実経過説明
11 月 18 日	第 2 回検証委員会	関係機関の内部検証報告、関係機関職員のヒアリング、問題点・課題整理
12 月 19 日	第 3 回検証委員会	検証報告書素案の検討 （問題点、課題に対する提言の検討）
平成 24 年 1 月 20 日	第 4 回検証委員会	検証報告書案の検討
2 月 10 日	県社会福祉審議会	検証報告書の報告

(2) 検証委員

県社会福祉協議会保育協議会会長、県民生児童委員協議会副会長、弁護士、小児科医師、大学准教授（民法）、児童精神科医師

(3) 提言の概要

- 【提言 1】「子どもの安全確保を優先する仕組みづくり」
- 【提言 2】「関係機関の連携と役割の明確化」
- 【提言 3】「関係機関の相談・支援体制の整備」
- 【提言 4】「育児の孤立化の防止」
- 【提言 5】「地域との連携及び地域における取組」
- 【提言 6】「虐待予防の意識啓発」